

一般質問報告

市政をめぐる新疑惑—徹底的に解明を！

旧たかはた保育園の民営化事業をめぐることは、この間、3人の弁護士による第三者委員会や市独自の自主検証チームで調査・解明が進められてきました。その中で、河内元副市長による不当な関与の生々しい実態と法外に膨れ上がった補助金の支出や土地交換の妥当性が疑われる事実が明らかになってきました。

一般質問で、そうした実態・事実をもとに、

- ① 地主の家賃(月額390万円)設定の妥当性を検証するために行われ、妥当と判断した不動産鑑定の問題点をたず
 - ② 地主に有利に市と地主との土地交換が行われたことが不動産鑑定で明らかになったもとで、今後の市の対応と責任をたず
 - ③ 保育園への進入道路の拡幅整備補助金1億円をめぐる、領収書や支出伝票、工事箇所図面等がなく地主に支出されていた実態をたず
- の3点に絞って追及しました。

最後に、市の自主検証作業の過程で行われた関係職員の証言録(下記参照)で告発しながら市長の姿勢をたずしました。

これに対し市長は「補助金に関して、職員が根拠なしに言われたままに決裁するというの
はおかしなこと。問題は、トップの私が、その点について是正をすることをやらずに
そのまま受け入れてしまったということであり。…ご指摘いただきました疑問点につ
いては、しっかりと解明し、応えてきたいと思っております」と答弁しました。

※ 市の検証チームに対する関係職員の証言録

・補助金支出に関して

「当時の保育課職員は、部長を含め、ただお金を出すだけという認識しかなかったのではないかと」「河内さんから、あそこにある書類をもらえと言われてやっていた」「見てもわからない中で…最終的には払うしかないのだなという認識」(当時、保育課課長補佐)

「道路の関係は自分で金額を弾いたことはない、言われた金額をそのまま入れた。河内さんからのメモを打ったのだと思う」「支出するだけ。中身はわからないし、交渉の経過もタッチしていない」(当時、保育課課長補佐)

「初めから無理を通して話している話という認識はあった。追加の補助の件については少しおかしな話とは思っていた」(当時、保育課係長)

・市と地主との土地交換に関して

「職員 N さんが、河内さんの指示を受けて、土地所有者の側に立って調整している人という認識があった」(当時、土地活用推進室長)

以上